

第3回 アフリカ玉手箱
シリーズ「共生社会を目指して」

ともに語る、共に生きる

～日本で生まれたコリアン・ガーナ人としての経験～

今回の玉手箱では、アフリカ玉手箱を支えてきた在日コリアンのパク スナさんと在日ガーナ人のクアテン ユニスさんが歩んできた人生を紹介します。日本で生まれ育ったお二人が、どのような経験を重ね、どのように生きてきたのか。その声に耳を傾けることで、「ともに生きる社会」について、考えるきっかけにしてみませんか？



パク スナさん (写真左)

日本生まれの在日コリアン三世。朝鮮学校卒業後、朝鮮半島、中国、中東（カタール）、アフリカ日本協議会で国際経験を積み、多様な視点を育む。在日コリアンと在日アフリカ人の視点から、日本社会における共生の可能性を問いかける。

クアテン ユニスさん (写真右)

日本生まれ日本育ちのガーナ人。小学生の頃から10年以上仮放免者として生活し、在留資格を取得。仮放免者としての経験から仮放免高校生奨学金プロジェクトに参加。現在はアフリカ日本協議会の職員として勤務している。

会場：JICA地球ひろば 2階セミナールーム202AB

(東京都新宿区市谷本村町10-5)

オンラインとのハイブリッド開催

オンライン参加者：2025年10月18日14時～16時

対面参加者：2025年10月18日14時～17時

参加費：1000円(AJF会員/AJFインターン500円)

アクセス①JR中央線・総武線 「市ヶ谷」 徒歩10分

アクセス②都営地下鉄新宿線 「市ヶ谷」 A1番出口 徒歩10分

アクセス③東京メトロ有楽町線・南北線 「市ヶ谷」 6番出口 徒歩8分

※玉手箱は、誰もが安心して語り合える居場所です。参加者への敬意に欠ける言動はご遠慮ください。

参加のお申込み
はこちら



玉手箱終了後、希望者の皆様とご一緒に
近くで懇親会（実費負担）も実施予定です！

お問い合わせ:アフリカ日本協議会

ajf.africatamatebako2@gmail.com